

報道機関 各位

## Tokai Open Innovation Complex(TOIC) 岐阜サイトにおいて 「産学連携フェア 2025」を開催します

岐阜大学では、産学連携の拡大により研究成果の社会還元・技術移転を推進し、地域社会での新たな価値の創造や事業拡大に貢献することを目指した活動を実施しており、その一環として、12月2日(火)に産学連携フェア 2025を開催いたします。

第1部では本学教員による研究紹介を、第2部の岐阜大学協力会の特別公演では2つのスタートアップの挑戦を紹介します。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

記

【日 時】 2025年12月2日(火)13:10~18:30(3部制)

【場 所】 TOIC 岐阜サイト(愛称:OKB 岐阜大学プラザ)1階(岐阜市柳戸1-1)

【第1部】 13:10~14:40 産学連携フェア2025 研究紹介

(講演者) 応用生物科学部 応用生命化学科 准教授 鈴木 史朗

教育学部 社会科教育 准教授 巢内 尚子

工学部 電気電子・情報工学科 助教 清水 恒輔

工学部 化学・生命工学科 助教 加藤 邦彦

【第2部】 15:00~17:05 岐阜大学協力会 特別講演会

(講演者) 株式会社 LIFULL ArchiTech・代表取締役社長 北川 啓介氏

※災害時に迅速に設置できる「インスタントハウス」を開発し、能登半島地震でも現地で活用。世界の難民キャンプにも展開し、希望を届けています。

なお、当日はこちらの「インスタントハウス」を会場近くに設置し、実際に皆様にもご覧いただける予定です。

(講演者) GIVELOVE 株式会社・代表取締役 北川 愛子氏

※和菓子や花道体験を通じ、地域資源を活かした文化輸出事業に挑戦。学生起業家ならではの学びと挑戦を語ります。

【第3部】 17:15~18:30 産学官交流会

\*詳細は別添のチラシをご覧ください。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

[https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu\\_miraie.html](https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html)



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

MAKE NEW STANDARDS.



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

岐阜大学 学術研究・産学官連携推進本部

TEL: 058-293-3339 FAX: 058-293-3209

E-mail: [sangaku@t.gifu-u.ac.jp](mailto:sangaku@t.gifu-u.ac.jp)

# 産学連携フェア2025

GIFU UNIVERSITY

参加  
無料

12/2 火 13:10～

会場

OKB岐阜大学プラザ 1F  
プレゼンテーションエリア

要事前申込み

11/21 金 まで

右記「QRコード※」より  
簡単にお申し込みいただけます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



PROGRAM 1部 13:10～14:40 産学連携フェア2025 研究紹介  
2部 15:00～17:05 岐阜大学協力会 特別講演会  
3部 17:15～18:30 産学官交流会

## 1部 13:10～14:40 産学連携フェア2025 研究紹介

「産学連携の拡大により研究成果の社会還元・技術移転を推進し  
地域社会での新たな価値の創造や事業拡大に貢献することを目指す」

挨拶 学術研究・産学官連携推進本部 産学官連携推進部門 部門長 國枝 稔

### 地域竹資源を活かしたサステナブルプラスチックの創製 ～脱炭素と地域循環型社会を支える新素材～

応用生物科学部 准教授 鈴木 史朗

地元企業との連携により、前処理・混練・成形条件を最適化することで、竹粉を50%以上配合した高強度かつ意匠性に優れたポリプロピレン系バイオマスプラスチックを共同開発しました。今後は、用途に応じたマスターバッチ化や生分解性樹脂とのハイブリッド化を進め、環境負荷の低減と地域発の新産業創出に貢献します。

### 女性技能実習生と 「性と生殖に関する健康と権利(SRHR)」

教育学部 准教授 巢内 尚子

妊娠、出産、中絶、避妊などが関係する「性と生殖に関する健康と権利(SRHR)」は人間の基本的な人権ですが、日本では妊娠を理由とする女性技能実習生の解雇・帰国強要といった問題が継続しています。調査をもとに、移民女性のSRHRがどのように、なぜ奪われてしまうのかを議論します。

### 映像・音声統合処理を用いたプロジェクションマッピング による非破壊検査アシストシステム

工学部 助教 清水 恒輔

航空機部品の人手による打音検査工程における「既打点部・未打点部を明らかにしたい」といったニーズを受け、本研究では打音からの欠陥検出と画像からの既打点部検出の統合によるプロジェクションマッピングを実現しました。本装置は打点時の既打点部・欠陥部を高速に検出・表示することで、実際の打音検査職場にも社会実装されました。

### 「ごみ」を価値ある未来材料へ ～常識を覆す材料改質技術で実現する資源循環～

工学部 助教 加藤 邦彦

「ごみ」から資源・環境問題を一挙解決する「宝」を生み出す材料改質技術についてご紹介します。私たちが開発した常識を覆す室温・乾式プロセスは、プラスチック等の廃棄物を多機能な新材料へと進化させます。この革新技術を使い、貴社が抱えている廃棄物問題を新たなビジネスチャンスに変えてみませんか？

2部

15:00~17:05

## 岐阜大学協力会 特別講演会

- 次第 挨拶 岡本 知彦 岐阜大学協力会会長(株式会社ナベヤ 代表取締役社長)
- 講演1 株式会社LIFULL ArchiTech・代表取締役社長 北川 啓介氏(名古屋工業大学・教授)
- 講演2 GIVELOVE株式会社・代表取締役 北川 愛子氏(岐阜大学・学生、岐阜大学協力会 特別会員企業)
- 講評 王 志剛 岐阜大学協力会副会長(岐阜大学副学長)

## 2つの形のスタートアップ

大学発ベンチャーを通じた国立大学法人での建築設計の研究の実用化  
—大学の先生だったら来週建ててよ— 講師 北川 啓介氏

東日本大震災の避難所で聞いた小学生の悲痛な声をきっかけに、廉価性・簡便性・安全性・構造的・技術性・汎用性に優れたインスタントハウスを研究開発してきました。名古屋工業大学にて、さらに改良を進め、より安価でより簡便なハウスを実用化しています。令和6年に発生した能登半島地震では、発災翌日に被災地入りし、その後も設置の要請が多く、急ピッチで大量生産し、現地へ届けてきました。自然災害のみならず、世界中の難民キャンプや戦災被災地にも、現地の皆様と共につくることが、現地の皆様が愛着をもってつかいこなすことで、未来に向かう希望をお届けしています。

## PROFILE

1974年愛知県生まれ。1999年ニューヨークの建築設計事務所にて建築設計に従事。2001年名古屋工業大学大学院工学研究科社会開発工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。同大学助手、講師、准教授を経て、2018年から現職。約20年の国内外での建築設計や建築教育の経験を経て、知財をもとにした未来志向の建築や都市を考案し、実用化した上での事業化を推進。2017年米国プリンストン大学客員研究員。建築構造物領域のプロフェッショナルであり、インスタントハウス技術の考案者。受賞歴 科学技術分野の文部科学大臣表彰 等。



## 学生起業家が挑む、日本文化とビジネスの融合

講師 北川 愛子氏

日本文化と起業を融合させた挑戦をテーマに、和菓子ブランドや花道体験を通じて地域資源の新たな価値創造に取り組んできました。その過程で直面した「実行と学業の両立」「事業アイデアの検証」などの壁や課題について、学生起業家としての実体験を交えながら学びと挑戦を共有します。

## PROFILE

岐阜大学地域科学部地域政策学科3年生。学生起業家として在学中にGIVELOVE株式会社を設立し、和菓子や花道体験を通じた文化輸出事業を展開。2025年より日本最大級のオープンイノベーション拠点STATION Aiに入居し、地域資源とグローバル市場をつなぐ新たな挑戦を続けている。



3部

## 17:15~ 産学官交流会

参加ご希望は下記URLもしくはQRコードより11月21日(金)までにお申込みください。

<https://forms.office.com/r/Sm2aBSKUpG>

【URLにアクセスできない場合はメールでもお申込みいただけます】

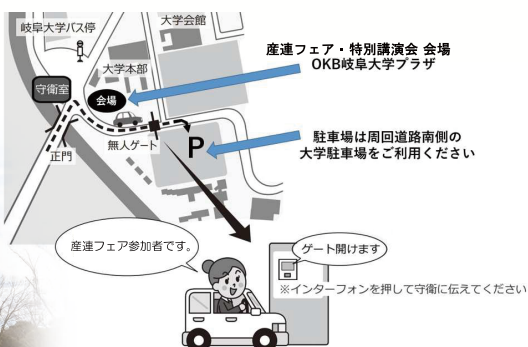
氏名、会社名、部署、電話番号を記載いただき、  
学術研究・産学官連携推進本部(sangaku@t.gifu-u.ac.jp)に送信ください。



## [会場案内図]

公共交通機関を利用した場合

- JR名古屋駅からJR岐阜駅まで新快速で約18分
- 駅前からは岐阜バスの  
岐阜大学・病院線をご利用ください
- JR岐阜駅⑨番乗り場、名鉄岐阜④⑤番乗り場



主催：東海国立大学機構岐阜大学 産学官連携推進部門、岐阜大学協力会  
後援：名古屋大学協力会